

本時のねらい

- ・ポピュラー音楽を聴いて、その良さを味わったり、良さを伝え合う。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・1人1台端末を活用し、動画や自分の考えなどの多くの情報を伝えることができる。
- ・動画を検索や、関連動画を活用させ、多様な音楽に触れさせる。

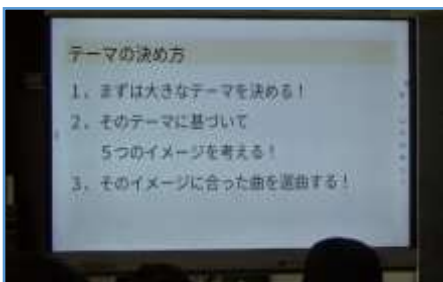
活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Chromebook ・Chromecast ・学習支援ソフト（ロイロノート） ・電子黒板 ・YouTube ・ヘッドセット

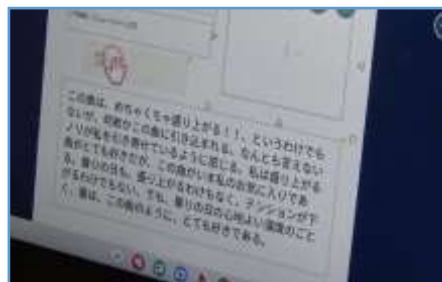
本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを確認する。 「コンピレーションアルバムを作る。」 ○自分が決めたテーマに沿った曲を5曲選び、アルバムとする。それぞれの曲を選んだ理由も併せて書く。【写真1】 ○テーマを選ぶ際は、テーマと曲の結びつきが強いもの（テーマを映画のタイトル、収録曲を映画のサウンドトラックにするなど）は避ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員がロイロノートで作った本時の提出課題の完成品を見せ、生徒端末に送信する。 ・曲はYouTubeで検索させる。検索した動画のURLをロイロノートのWebカードに張り付けることで、リンク先に移動しやすくする。 ・今回は授業内ということで、曲を自由に選択させているが、著作物に関する権利については、事前に指導しておく。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○自身のテーマを決め、アルバムに収録する曲を決める。【写真2】 	<ul style="list-style-type: none"> ・音源の検索時は他の生徒の活動の妨げにならないように、ヘッドセットを利用させる。 ・できるだけ教員の意識が生徒の活動に向けられるようにし、生徒の活動を見とる時間を確保する。 ・作業が進んでいない生徒のために、適宜、周りの生徒の制作物を電子黒板に投影し、共有する。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○制作物の途中経過を伝え合う。制作物の途中経過を相互に見合う。現時点での感想や、アドバイスを伝え合う。【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートの生徒間通信機能を活用し、自分の成果物を任意の生徒に送る。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】ロイロノートを使い、本時のめあてを伝えている様子



【写真2】ロイロノートを使い、生徒自身がコンピレーションアルバム案を作成する様子



【写真3】自身が作ったコンピレーションアルバム案をもとに話し合う様子

児童生徒の反応や変容

- ・1人1台端末活用をして自分の好きな曲を選ぶという活動を通して、生徒の主体性を引き出すことができた。
- ・ロイロノートの生徒間通信機能を活用することで、同じ曲でも自他で異なる印象を受けるといった新しい発見をしている生徒がいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・1人1台端末を使うことで、アルバムを作成する時間が短くなり、またスムーズに情報共有ができる。
- ・自分の好きな曲を選んだり、端末を用いて共有する活動を通して、生徒同士が意見を出し合う状況ができる。